

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成20年3月6日 (2008.3.6)

【公開番号】特開2002-81007(P2002-81007A)

【公開日】平成14年3月22日 (2002.3.22)

【出願番号】特願2001-114177(P2001-114177)

【国際特許分類】

E 0 1 B 31/26 (2006.01)

E 0 1 B 31/22 (2006.01)

E 0 1 B 31/24 (2006.01)

E 0 1 B 31/28 (2006.01)

【 F I 】

E 0 1 B 31/26

E 0 1 B 31/22

E 0 1 B 31/24

E 0 1 B 31/28

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月18日 (2008.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 既設のまくら木からレールを固定する締結部材を引き抜く工程と、まくら木の表面の少なくとも一面を所定の厚さに渡って研削または切削する工程とを有することを特徴とするまくら木の補修方法。

【請求項 2】 タイプレートの下方に生じる凹みの内部に芯部材を配すると共に充填硬化剤を注入し、凹みの開口部に耐摩耗性シートを覆い被せて硬化させて一体化させる工程を有することを特徴とする請求項 1 に記載のまくら木の補修方法。

【請求項 3】 前記まくら木の表面には、まくら木の長さ方向または幅方向へ向けて全長に渡って、軌道敷設ケーブルを収納する溝または段部で成るケーブル収納部が設けられており、当該ケーブル収納部が設けられた表面を少なくとも当該収納部の溝または段部の深さまで切削して当該ケーブル収納部を取り除く工程を有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のまくら木の補修方法。

【請求項 4】 前記まくら木上面のタイプレート取付部分に、まくら木の高さを所定値にするためのスペーサを取り付ける工程を有したことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のまくら木の補修方法。

【請求項 5】 研削あるいは切削したいいずれかの面に所定の厚さの補強板を接合する工程を有することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のまくら木の補修方法。

【請求項 6】 前記まくら木の面を研削または切削する工程は、当該研削または切削する面が平滑となるまで行われることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のまくら木の補修方法。

【請求項 7】 前記まくら木の少なくとも一面に硬質の補強層を設ける工程を有することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載のまくら木の補修方法。

【請求項 8】 前記補強層の上面に更に補強板を接合する工程を有することを特徴とする請求項 7 に記載のまくら木の補修方法。

【請求項 9】 前記まくら木の下面に、まくら木の高さを所定値にするためのスペースを取り付ける工程を有したことを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載のまくら木の補修方法。

【請求項 10】 前記まくら木を所定の長さで切断して元のまくら木よりも短尺とする工程を有することを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載のまくら木の補修方法。

【請求項 11】 複数のまくら木を長さ方向へ継ぎ合わせて元のまくら木よりも長尺とする工程を有することを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載のまくら木の補修方法。

【請求項 12】 請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の方法によって補修されたまくら木を、元の敷設状態と上下面を反転させて再敷設することを特徴とするまくら木の敷設方法。